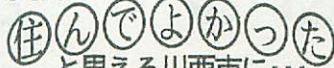


暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員控入室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp

## 「住民のいのちとくらしを守り抜く 市役所のあり方」を問う

3月定例会で私(黒田)は、「2010(H22)年度の予算編成にあたっての大塩市長の施政方針」に対して「総括質問」を行いました。

### 市役所の3つの役割

昨年12月議会で請願を採択した「こどもや障がい者の医療費補助の拡充」「入浴サービスの継続」などの施策が一步前進していることを評価しながら、市役所が「住民の役にたつ所」となり、「住民本位の税金の使い方」に徹し、「市民の立場から国や県に意見を述べろ」という役割の発揮を強く求めました。

### 「憲法遵守」の立場で

国のまちがった施策には、市民の安心・安全を確保するため「後期高齢者医療制度」「派遣労働法」「伊丹自衛隊基地内の米軍共同演習場と地位協定」などの問題について、国に明確に意見を述べ、是正させること。

### 市民本位のまちづくりを

「市民」をまちづくりの主体、主権者として「市民参加」のまちづくりを行なうこと。住民への情報公開や説明責任を果たすこと。

### 税金は透明、公正に

「税金」の使途は、透明性・公正性を担保すること。市の業務委託先の労働者は、働くルールが守られるよう責任をもつこと。(公契約条例など)委託料や補助金などの使途も明確にし、不正を許さない事も強く求めました。

### 中央北開発は凍結を

すでに246億円も注ぎ込んだ「中央北地区」に、さらに100億円も投入して「大型店舗の誘致」を含む「開発」を押し進める計画はただちに中止すること。現在の川西市の「財政状況」「消費者動向」「土地

厚生経済常任委員会で審査された3件の請願結果

(3月9日)

(敬称略)

請願	賛成	反対	退席
「後期高齢者医療制度をただちに廃止することを求める」	黒田	平岡 土田 北上 中礼 北田 吉富	
「保険でより良い歯科医療の実現を求める」	黒田	平岡 土田 北上 中礼 前田 吉富	
「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正に反対する」	中礼 吉富	黒田 前田 平岡 北上	土田

## 「よめい歯科診療」など 不採択

### 厚生経済委員会3つの請願

「よめい歯科診療」の請願について私は、「歯科は医療や技術の進歩に保険適応が追いついていない。約30年ほど診療報酬の引き上げがないことも問題」と賛成。他の委員は「よくわから

「後期高齢者...」の請願は、私が「年齢と障がい差別する医療であり、保険料値上げや入院料の激減による病院からの追い出しなど医療崩壊につながる」と「即時廃止」に賛成しましたが、他委員は「新しい制度導入を考えているの」と反対しました。

「選択的夫婦別姓を認める」ことに反対の立場から提出。私は、「現在の強制ではなく、夫婦で選択できることが当然」と請願に反対。

「移転」ではなく「撤退」しかない。これに対して請願は「選択的夫婦別姓を認める」ことに反対の立場から提出。私は、「現在の強制ではなく、夫婦で選択できることが当然」と請願に反対。

### 3月定例会で総括質問(黒田 みち)



国崎クリーンセンターにて... 私達が生活をするに必ず排出される「ごみ」。燃やすのか、資源化するのか...どちらにしても多額の税金を投入します。結局のところ、「ごみ」を減らすことが肝心。身近な工夫はもちろん、大元である企業の「排出責任」も問うていかなければなりません。地球温暖化対策を含め、「便利」「儲け」中心のあり方を正していきたいですね(ー) v

### 黒田のつぶやき

普天間基地をはじめ、沖縄の米軍基地は住民から無理やり土地を奪って造ったもの。サンフランシスコ条約後も、抵抗する住民を強制的に排除し基地の拡張を行なった。奪ったものは、無条件に返して当然。なのになぜ、移転先が必要なのか? おかしい。「撤退」ではないか。

アメリカでは、人口密集地に基地をつくることなどありえない。もし、人口増で民家が基地近くまで迫ってくれば基地を移転している。日本には、住宅地で「低空飛行」を行うことを禁止する「航空法」があるが、米軍だけは適用除外。アメリカ国内では、「低空飛行」を行なわない。「なぜなら野鳥に悪い影響があるから...」日本の国民のいのちは野鳥より軽いのか!

今読み川柳  
「いのちって次も代わりもないんだよ」

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして



ご意見・ご要望をお寄せください

# 県内たらい回しに怒る

## 新基地 陸上案に抗議

### 名護市議会が全会一致

### 「普天間の危険移すだけ」

意見書可決



沖縄県宜野湾市の市街地にある米軍普天間基地の「移設」先をめぐり、県内名護市の米軍キャンプ・シュワブの陸上部に移す案が、政府・与党内で急浮上している。文字通り、基地を沖縄県内で「たらいまわし」するものです。

住民のいのちと暮らしを脅かしている普天間基地の撤去は、県民・市民が切望しています。その願いに応えるには無条件撤去を求めて交渉すべきなのに、「移設」先を求めて「迷走」を繰り返し、結局、県内「たらいまわし」とはひどすぎます。鳩山政権が掲げてきた、沖縄県民の「負担軽減」の公約さえ投げ捨てるものです。

「迷走」でなく、「逆走」

鳩山由紀夫首相は昨年の総選挙で米軍普天間基地の「国外・県外」への「移設」を約束し、民主・社民・国民新3党の鳩山政権樹立にあたっての「政策台意」(昨年9月)では、「沖縄県民の負担軽減の観点から、米軍再編や基地のあり方について見直しの方向で臨む」としました。鳩山政権としての県民・国

民への最低限の公約です。

普天間基地をキャンプ・シュワブの陸上部に移すだけなら、爆音などの基地被害と墜落などの危険性をそのまま移動させるだけで、なんら県民の負担軽減にはなりません。名護市の市議会が、市民の人権と生命、財産を守る立場か



ら、「陸上案に断固反対」の意見書を決したのも当然です。シュワブ陸上部への基地の「たらいまわし」などというのは、まさに「移設」先をめぐる「迷走」どころか「逆走」そのものです。

もともと普天間基地を含む沖縄の米軍基地は、太平洋戦争末期の沖縄戦のさなかに、戦時国際法にも違反して一方的に土地を奪って建設し、その後も「銃剣とブルド

ーザー」で県民を脅して拡張してきたものです。県民が撤去・返還を求める以上、無条件で返しこそすれ、「移設」先を探る筋合いのものではありません。

しかも問題は普天間基地だけではありません。日本のなかでも異常に米軍基地が集中している沖縄では、県民の暮らしが日夜脅かされ、広大な米軍基地によって経済活動も妨げられるなど、被害が深刻です。「負担軽減」を求める県民の願いは切実で、だからこそ沖縄県議会も2月末、普天間基地の「早期閉鎖・返還」(県内移設)の「断念」を求め



る意見書を全会一致で決めています。鳩山政権が沖縄県民の「負担軽減」をいうなら、こうした県民の願いにこたえて、基地の撤去・縮小を求めるべきです。

無条件撤去求めて交渉を

県民・市民の長年の願いであった普天間基地の撤去を日米両国政府も認めなければならなくなったのは、1995年の米兵による少女暴行事件が県民の憤激を買った

ためです。ところが両国政府が「移設」先探しを条件としたため、この14年近くにわたって実現しませんでした。いまこそ「移設」条件付き返還の態度を改め、無条件撤去を求めて交渉すべきです。

鳩山政権が発足以来の5カ月近くも「移設」先探しに時間を費やし、県外に引き受け手がないからと、沖縄県民の「負担軽減」の公約にも反して、「たらいまわし」を持ち出すのはまったく道理がありません

### 日本共産党

### 知りたい聞きたい

〈問い〉米海兵隊の沖縄への駐留経緯と、これにたいする日本共産党の考えを教えてください。(山口・一読者)

(山口・一読者)

〈答え〉米海兵隊は、「隠れ込み」を任務とする部隊です。沖縄には、この海兵隊の第3海兵遠征軍が本土以外では唯一、常駐しています。米海兵隊は、平和のための「抑止力」ではありません。米国の戦争のための「侵略力」だということ、イラク戦争などをみても明らかです。

### 米海兵隊の沖縄駐留をどう考える？

米海兵隊はもととも沖縄にずっと駐留していたわけではありません。朝鮮戦争(1950年6月)直後に、朝鮮半島でたまたか米軍の支援部隊として、静岡、山梨、岐阜などに配備されました。

しかし当時、米軍立川基地拡張に反対する「砂川闘争」をはじめ、「米軍でいけ」との国民運動が大きく広がり、米軍の横暴勝手が通用しなくなりました。このため海兵隊は、50年代半ばに米軍が軍事占領していた沖縄に移らざるをえなくなったのです。

(山)

(2010・1・20(水))

赤旗 ほんぶん あなたも読んでください

